

産業建設常任委員会

日 時 令和3年10月15日（金）午前10時～

場 所 全員協議会室・現地視察（旭町・曾我部町）

1 開議

2 案件

- （1）森林整備・林業担い手について（午前10時～午後0時）
（農林振興課との意見交換会）

<昼休憩>

- （2）農業担い手・都市農村交流について（午後1時～午後2時）
（農林振興課との意見交換会）

- （3）現地視察について（午後2時15分：市役所正面玄関前出発）
（旭町・曾我部町の農地）※詳細は別紙のとおり

亀岡市議会 産業建設常任委員会 意見交換 ・ 現地視察

令和3年10月15日(金)

産業観光部農林振興課

【第1部】林業担い手育成、森林整備について

1 事業実施の背景

本市の森林面積は15,277haで、市域面積の約70%を占めており、国土の保全、水資源の確保、教育・文化・レクリエーションの場の提供など多様な機能の発揮が期待されているところです。

しかし、近年の現状は、国産材価格の低迷、経営コストの上昇による採算性の悪化などで、林家の経営意欲が減退により、森林の果たす各種機能の低下が懸念されており、担い手の確保が問題となっています。

こうしたことから、森林の整備健全化を図るうえで、急激に減少・高齢化している林業従事者の新陳代謝を図るとともに、将来にわたり安定的な林業労働力を確保していくものです。

2 事業内容

(1) 林業事務事業

○緑の少年団育成事業

目的：次代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を行う。

主体：亀岡市緑の少年団連絡協議会

概要：緑の少年団活動事業に関する費用補助

活動：平和台公園・亀岡駅等の清掃(美化)・緑化活動
京都山キッズ交流会の参加

予算：150千円(補助金 実施事業費の1/2)

○森林ボランティア活動

概要：森林保全に尽力するボランティア団体に活動補助を行う。

主体：亀岡里山クラブ、篠町「町づくり推進会」長尾山部会

活動：森林内の散策路や連絡道などの整備
森林整備のための下刈、択伐、植林
市民、保育園児等と連携したフィールドウォークの開催

予算：40千円（補助金 実施事業費の1/2）

○緑の募金事務事業

目的：公益社団法人京都モデルフォレスト協会が活動している「緑の募金」運動を亀岡市の窓口になって活動している。

主体：亀岡市都市緑花協会

活動：緑の募金事務
花づくりコンクール実施
苗木・木製プランター交付

予算：400千円（補助金 実施事業費の1/2）

(2) 林業生産振興事業

○作業道整備事業

目的：森林整備に伴い、林道規定等に該当しない作業道の整備を行う

主体：亀岡市森林組合

実績：作業道第二東谷線（L=232m）
作業道五郎谷線（L=218m）

予算：1,350千円（補助金 実施事業費の1/2以内）
※3,000円/mを上限

(3) 林業担い手育成事業

○森林組合育成事業

目的：林業経営者の育成、相談活動を充実することで、公益的役割を担う林業への意欲向上を図り林業従事者の健全な育成を行う。

主体：亀岡市森林組合

内容：広報誌の発行、林業に関する相談対応、安全作業研修

予算：774千円（補助金 実施事業費の1/2以内）

○林業労働者共済事業

目的：林業労働者の社会保障制度適用条件の整備及び労働条件の改善並びにその組織の育成を図る。

主体：京都府林業労働支援センター（亀岡市森林組合）

内容：林業就労者に退職金の上乗せと林業退職金を支払う事業体に補助を行う。

予算：380千円（長期事業：就労日数@410円（市負担分@205円）
退職金助成事業：就労日数@70円（市負担分@35円）

○緑の担い手育成事業

目的：林業労働者の労災保険料率が他の事業に比べ格段に高いことから、それを就労環境改善の観点から補助する。

主体：亀岡市森林組合

内容：定期健康診断、振動病検診、業務災害補償保険等

予算：330千円(労働者総賃金の1000分の16.5%(府11%市5.5%))

(4) 森林環境整備事業

○流域育成林整備事業

目的：間伐等の森林施業の実施により、良好な生活環境を確保し、健全な森林資源の確保を行う。

主体：亀岡市森林組合

内容：森林組合が国・府から補助を受けている森林経営計画の事業において、市独自の上乗せ補助を行う。

予算：920千円(国府40%市20%)

※現状は予算内での補助であり、事業費に対して20%の補助が来ていないのが現状。

○緑の公共事業

目的：府内における森林の公益的機能の維持回復を図るため、手入れの遅れている人工林の緊急間伐対策を行う。

主体：亀岡市森林組合

内容：国の補助を受けるためには、森林経営計画を樹立する必要があるが、森林経営計画は長期計画であることと樹立による制約が多いため、府単費事業による緊急間伐を行う。

予算：428千円(府50%、市10%)

※森林経営計画に比べて融通が利くことが多く即効性も高いため、森林組合は予算を増やして欲しいと要望しています。

(5) 林業経営強化対策事業

○生産森林組合活動事業

目的：生産森林組合は、森林組合法により認定されている森林管理の法人格であり、森林の所有者等をまとめ、地域の森林の整備を行っている

主体：生産森林組合(佐伯大城山、野条、中、大内、寺、柿花)

内容：生産森林組合による下草刈、間伐、作業道の清掃等。

予算：80千円(補助金 実施事業費の1/2以内)

(6) 森林活用推進事業

○森林啓蒙啓発活動事業（薪ストーブ及びペレットストーブ購入補助）

目的：森林の整備及び木質資源のエネルギー化を促進し、低炭素社会の実現に向けた活動を行う。

主体：亀岡市に住所を置く個人または企業

内容：本体費の1/2以内（上限20万円）

予算：1,000千円（5台程度）

○里山再生整備事業

目的：集落に隣接する放置された里山の不要木や人家裏等の危険木及び崩土等の除去を行う。

主体：自治会及び区

内容：事業費の9/10の補助を行う。

予算：1,900千円

○意向調査実施計画策定業務委託

目的：亀岡市内の人工林を対象に、間伐等必要な森林整備を進めるため、森林経営管理制度に基づき、森林の所有者への意向調査や集積計画の策定を効果的に行うための実施計画を策定する。

内容：収集したデータ情報を確認整理し、林班ごとに人工林の分布状況や路網の整備状況をもとに意向調査の実施優先順位を検討し、ランク付けを行う。

予算：8,000千円

○意向調査業務委託

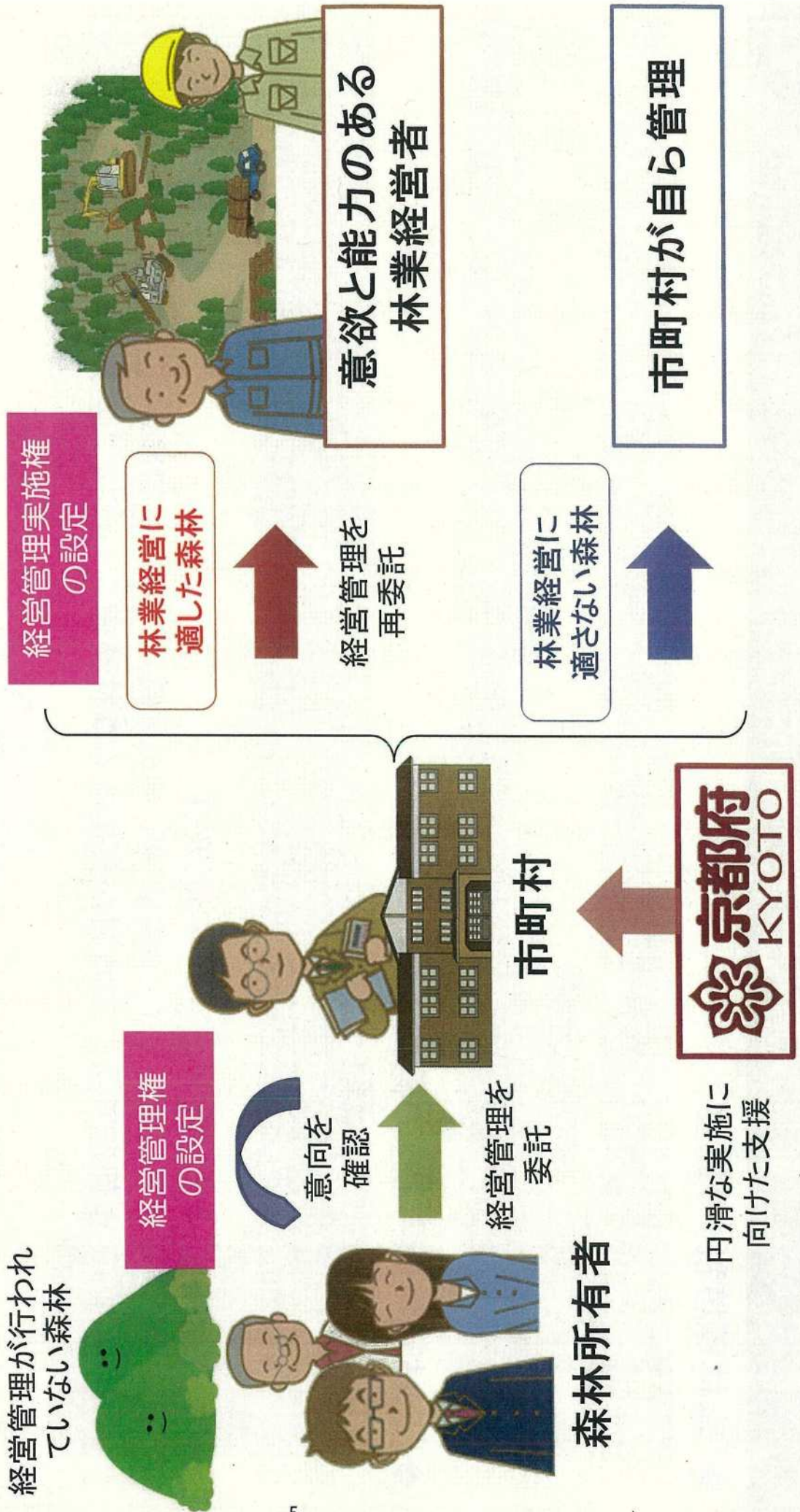
目的：平成31年4月1日より施行された森林経営管理法により、経営管理が行われていない森林について市町村が仲介役となり、森林所有者と林業経営者をつなぐシステムを構築していくこととなっており、森林所有者に今後の経営の意向を確認する業務。

内容：森林所有者に経営の意向を確認し、市に任せたいと言われる森林において、付近の森林の集約化を図り、整備をできるように経営権の委託を受ける。

予算：8,349千円

森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の概要

経営管理が行われていない森林について、**市町村が仲介役**となり、「**森林所有者**」と「**林業経営者**」をつなぐことで、森林管理の適正化・林業経営の効率化を図るシステム



「森林環境税」と「森林環境譲与税」の概要

◆「森林環境税」の概要（令和6年度から課税）

納税義務者	国内に住所を有する個人に対して課する 国税
税額	<u>1,000円（年額）</u>
賦課徴収	市町村が個人住民税と併せて賦課徴収

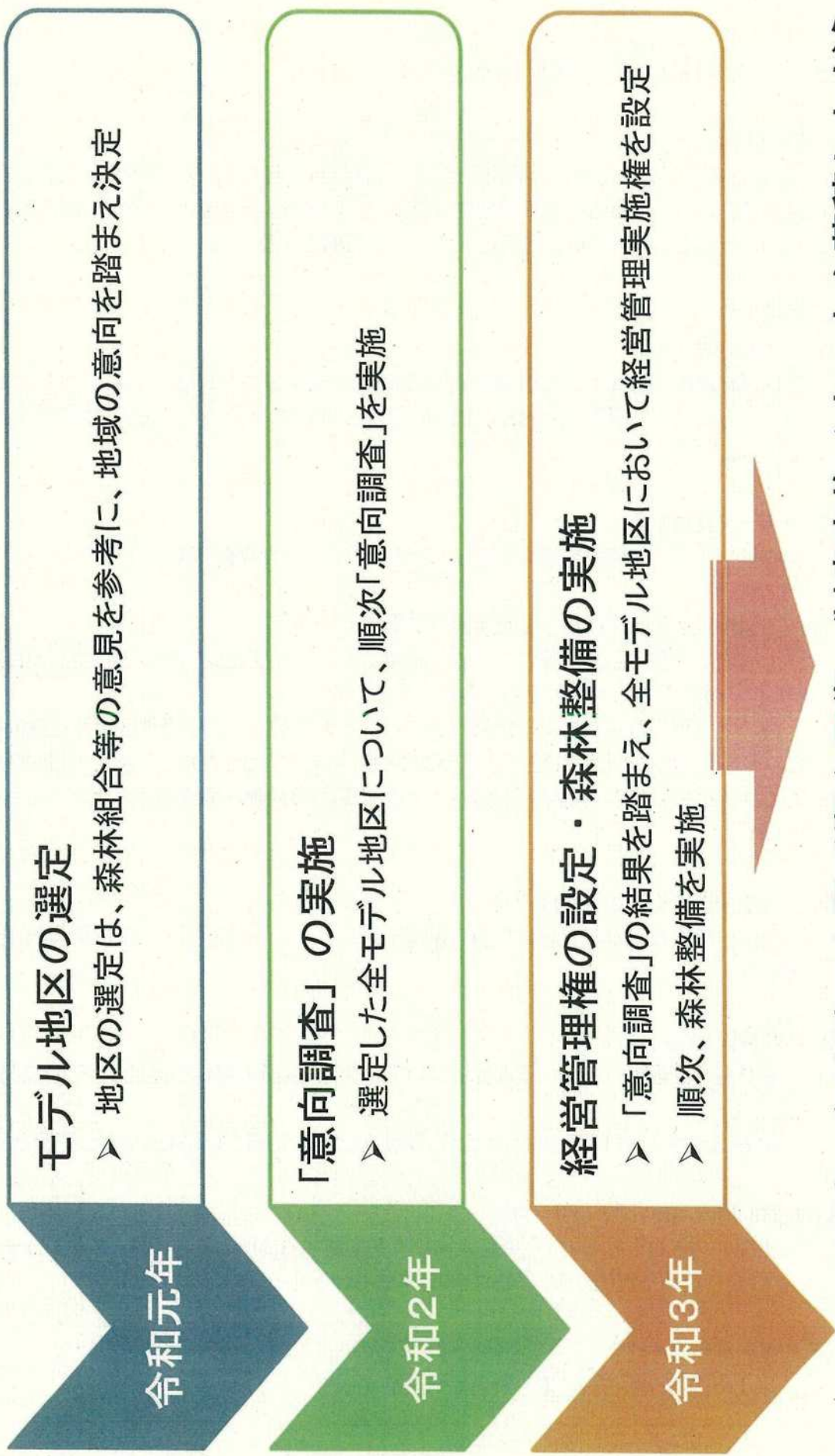
◆「森林環境譲与税」の概要（令和元年度から譲与）

譲与基準	総額の9割(当初8割)を各市町村に下記割合で配分(都道府県は1割(当初2割)) ① 私有林人工林面積(5/10) / ② 林業就業者数(2/10) / ③ 人口(3/10)
使途	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市町村: 森林整備 及び その促進に関する費用 (人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等) ◆ 都道府県: 市町村が実施する森林整備等の支援に関する費用



**「森林経営管理制度」への活用の他、法律の用途の範囲内において、
 市町村の判断で様々な活用が可能**

これまでの検討内容を踏まえ、当面下記により制度を実施予定



以降、各地域で上記手順を反復。制度実施ノウハウを蓄積しながら、1地区当たりの面積を拡大し、市域全体の整備を目指す

1 業務場所及び対象森林 亀岡市一円の人工林

2 業務目的

亀岡市内の人工林を対象に、間伐等必要な森林整備を進めるため、森林経営管理制度に基づき、森林の所有者への意向調査（以下「意向調査」という）や集積計画の策定を効果的に行うための実施計画を策定することを目的とする。

3 業務内容

(1) 情報収集

京都府森林計画情報、保安林配備状況等京都府提供資料を収集するとともに、市から提供を受け、防災情報、森林経営計画策定状況、間伐等施業履歴、道路・集落情報等を収集する。

(2) データ整理作業

収集したデータ情報を確認整理し、次の作業に向けた準備作業を行う。

(3) 対象地区一覧表作成及び優先度検討作業

上記までで整理した情報について、林班ごとに優先度をつけるのに必要な項目を整理し、一覧表として取りまとめるものとする。

続いて整理した項目ごとに評価点数を付けるとともに、大字等地区単位に意向調査等の実施優先順位を検討できるようランク付け作業を行う。ただし、選定項目や評価方法については、地域の実情等を考慮し、亀岡市農林整備課と協議のうえ決定するものとする。

(4) ランキング位置図等作成

上記一覧表及びランク付け作業の結果を図化した全体位置図及び地区別詳細図を作成する。

(5) 森林概況調査

森林経営管理の対象となる森林について、市内4箇所を想定し、その現況を調査する。

調査内容は、ドローン撮影等による概観及び現地踏査による林内状況の把握とする。

(6) 意向調査実施計画（案）作成

上記の結果をとりまとめ、森林意向調査を実施する箇所の優先順位、スケジュール等について定めた実施計画（案）を策定するものとする。

(7) 報告書作成・納品

以上の内容を報告書に取りまとめて納品するものとする。

【第2部】都市・農村交流事業の概要

1 事業実施の背景、事業概略

「農業・農村に対する関心の高まりを踏まえ、都市近郊に位置する立地特性や自然環境を活かした都市農村交流を通じて、「食」と「農」に対する理解促進と地産地消を進める。」 …「第3次亀岡市元気農業プラン」[4](#) 流通システムの充実

2 具体的な事業内容(令和3年度)

(1)にぎわいづくり事業

○ アグリフェスタ

目的：「食」と「農」についての情報発信を通じ、生産者と消費者をつなぎ、地産地消を進める。

日程：令和3（2021）年10月31日（日）午前10時～午後2時

場所：亀岡市農業公園（河原林町）

主催：アグリ・フェスタ実行委員会

概要：別紙チラシのとおり

予算：業務委託料 720 千円等

過去来場者数

平成 27 年 (2015)	平成 28 年 (2016)	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)	令和元年 (2019)	令和 2 年 (2020)
5,000	5,000	5,000	5,000	3,500	225

※令和2年は新型コロナウイルスの影響でスタンプラリー形式に変更

○ 市民農園・体験農園開設支援

目的：開設を支援することで、都市・農村の交流促進及び地域活性化を図る。

内容：簡易な施設整備及び広報費用を補助。

補助額：1農園につき上限 200 千円（補助率 1/2）、開設時のみ可

直近の補助実績 H28 西加舎ファーム、H27 ほたる農園

現在の市民農園等数 市民農園 6、農業体験農園 2 合計 8

※市民農園…土地の賃借を伴う。農業体験農園…土地の賃借を伴わない。

相談対応中 2 件

○ 農業・農村体験ツアー

目的：農業体験や地域で滞在を通して、亀岡農業・農産物の魅力を発信する。

内容：農村部へのツアー形式で実施

予算：委託料 100 千円

過去の取り組み

：令和元年度 旭町で実施（参加者数 23 人）

令和2年度 中止

今年度の方向性

：当初開催予定の秋に事業が集中したため、開催時期・内容調整中

(2)直売活動支援事業

○ 亀岡市直売連絡協議会への支援

目的：市内の直売所で構成する協議会への支援を行い、地域農業の活性化を図る。

内容：直売所マップ（別紙）の作成

情報交換を兼ねた料理教室の開催

（H29 そば打ち、味噌作り、H30 米粉パン、R1 みそ作り、R2 中止）

R3 検討中

各種イベントへの出店

○ 食の京都 TABLE 整備支援事業

目的：「食」を目的とした広域観光を促進し、農山漁村の維持を目指す。

内容：府内産農林水産物の取扱額増大に寄与する設備の導入経費を支援

補助額：1 件につき上限 10,000 千円（補助率 1 / 2）※市負担なし

予算：1,350 千円

実施状況：R3（農）犬甘野営農組合の餅つき機等導入を支援

※R3 新設事業

○ 6次産業化事業

目的：農産物の高付加価値化による、にぎわい創出を図る。

内容：先進地視察を実施

予算：47 千円（講師謝礼等）

過去の内容：

令和2年度 中止

令和元年度 研修会 「春夏野菜の基本技術」参加者 24 人

視察 中止

平成 30 年度 研修会 「春夏野菜の優良品種について」参加者 111 人

視察 道の駅神戸コープフルーツフラワーパーク大沢

参加者 34 人

今年度：令和 4（2022）年 2～3 月実施予定（内容調整中）

○ 亀岡産農産物の新しい魅せ方提案業務

目的：移動式屋台「やおやおや」を活用し、これまでとは違う視点での亀岡産野菜の魅せ方を提案し、農産物を含む時間・場所の高付加価値化を目指す。

内容：霧の芸術祭実行委員会への委託により、「やおやおや」の活用、「なごみの里あさひ」を核に、直売所の新しい活用についての提案を行う。

予算：300 千円（委託料）

昨年度の内容：「やおやおや」を活用したイベント等出店

来場者 3,652 人

「なごみの里あさひ」を活用した事業提案（南丹高校とのコラボ等）

農家インタビューのワークショップ実施

(4)その他

○ 教育体験旅行(農山村教育民泊)

目的：宿泊体験旅行の受け入れを通して、まちの活性化、農業問題の啓発につなげる。

内容：森の京都 DM0（令和 2 年度までは（一社）京都丹波・食と森の交流協議会）が実施する受入事業の支援、地元調整等

実績：H29、H30、H31 東山中学校

H31 明德高校

令和 2 年度はコロナで受入なし。令和 3 年度もコロナで現状受入なし。

以上

【第3部】農業担い手づくり育成事業について

1 事業実施の背景・事業戦略

市内18町単位の各営農組合等をはじめ、区単位の118集落の各農家組合等から取りまとめた現状の総農家数は3,521戸、総経営面積が2,163haとなります。本市農業の持続的な発展に向け、水田農業地域である本市の米の生産量は、京都府全体の約11.5%（平成30年度）を占めており、麦を中心とする土地利用型作物の集団作付や機械の共同利用化が進められてきました。これを契機に、ほ場整備田では、米を含む集落営農や地域営農へと発展しているが、さらなる低コスト生産、省力化への要請も高まっています。今後、個別営農が困難な地域においては、集落営農による農作業受託組織や法人化を支援するための各種事業を実施するものです。

また、地域農業の新たな担い手や中核的な担い手の育成・確保を図るためには、農業が職業として選択し得る魅力とやりがいのあるものとなるよう、個別営農から組織的な担い手の育成と機能強化、女性や高齢者の能力の発揮、新規就農者を確保・育成をしていきます。

2 具体的な事業内容（令和3年度）

○新規就農者確保・育成事業

<研修支援>

・事業名：担い手養成実践農場整備支援事業

事業概要：新規就農希望者が農業経営に必要な技術を習得するための研修を支援するとともに、担い手づくり後見人を選任して地域への受け込みを促進する。

対象者：樽本 寛（東本梅町）

予算額：報償費（後見人）、消耗品（土壌改良）、使用料（機械等借上料）
400千円 ※財源 府支出金（補助率：1/2）

・事業名：就農研修資金償還金助成事業

事業概要：新規就農希望者が技術研修を受けるために必要な資金を京都府農業総合支援センター（現 京都府農業会議）から借り受けた場合に、その償還を助成する。

対象者：H24年度～H26年度 13名分償還金合計9,000,000円

予算額：6,000千円 ※財源 府支出金（補助率：1/2）

<技術習得定着支援>

- 事業名： 亀岡地域農業再生協議会担い手部会 担い手専任マネージャー
事業概要：◎定期巡回による指導や研修会・交流会の開催
専任マネージャー：王子 均（JA 京都営農指導員 OB）
予算額：2,279 千円 ※財源 一般財源

- 事業名：農業次世代人材投資事業（経営開始型）
事業概要：次世代を担う農業者となることを目指す新規就農者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付する。
対象者：33 名分 資金交付金 合計 45,000,000 円
予算額：45,000 千円 ※財源 府支出金（補助率：全額）

○認定農業者（個人）

<人材育成支援>

- 事業名：農の担い手新規就農支援事業
事業概要：将来の地域農業を担う新規就農希望者に対する農業生産及び経営技術の習得等を研修・指導する経費の一部を助成する。
対象者：市内認定農業者 8 名の農場受け入れ @250 千円/1 件
予算額：2,000 千円 ※財源 国庫支出金 地方創生（補助率：1/2）

<機械・施設導入支援>

- 事業名：地域担い手応援事業
事業概要：実質化された京力農場プランに中核的担い手として位置づけられた認定農業者等の農業機械等の導入を支援する。
対象者：市内認定農業者及び新規就農者 上限@1,500 千円/1 件
予算額：10,000 千円 ※財源 ふるさと力基金繰入金（補助率：全額）

○集落営農等

<組織体制づくり支援>

- 事業名：集落営農育成強化助成事業

事業概要：市内各農家組合等における将来の地域農業についての話し合いを支援し、京力農場プランの策定、集落営農組織の設立・法人化等の成果が出た場合には追加で支援を行う。

対象：町単位の営農組織

助成額：基礎支援（面積・戸数配分）＋活動支援（取り組む活動内容）

予算額：3,230 千円 ※財源 一般財源

<機械・施設支援>

・事業名：国・府の支援制度の活用

事業概要：一覧表のとおり